

燃料価格の採録期間変更による 燃料費の試算結果について

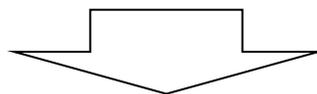
2023年3月3日
中国電力株式会社

1. 試算の考え方

- 今回の試算は、前提とする燃料価格の採録期間を、2022年7~9月平均から2022年11月~2023年1月平均に置き換えることにより実施しました。
- その他の点について、申請時からの変更はありません。

【主な燃料の購入価格（品代）算定の考え方】

申請原価	石炭	LNG	重油
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年7~9月における当社購入実績と全日本CIFを輸入国別に比較し安価なCIFを採用し、原価算定期間中の国別の調達計画割合で加重平均し算定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既契約分（全体の8割程度）は、各契約のフォーミュラに対し2022年7~9月にLNGを受入れた場合に参照すべき原油・ガス指標等を適用し算定 ■ 未契約分は2022年7~9月のJKMを適用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年7~9月におけるチャンピオン交渉（決定済）価格をベースに算定



今回試算	石炭	LNG	重油
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年11月~2023年1月における当社購入実績と全日本CIFを輸入国別に比較し安価なCIFを採用し、原価算定期間中の国別の調達計画割合で加重平均し算定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既契約分（全体の8割程度）は、各契約のフォーミュラに対し2022年11月~2023年1月にLNGを受入れた場合に参照すべき原油・ガス指標等を適用し算定 ■ 未契約分は2022年11月~2023年1月のJKMを適用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年10~12月におけるチャンピオン交渉（決定済）価格と2023年1~3月のチャンピオン交渉（暫定）価格を2:1で加重平均した価格をベースに算定

2. 試算結果

- 試算の結果、石炭系の燃料費が増加した一方、ガス系および石油系の燃料費は減少し、合計では25億円減少しました。

注) なお、他社購入電力料等においても燃料価格を参照しており、採録期間を変更する場合、燃料費以外にも影響が生じます。

【火力燃料費の試算結果】(原価算定期間3か年平均値)

(億円、億kWh、円/kWh)

	今回試算結果【A】 (燃料価格：2022年11月～2023年1月)			申請原価【B】 (燃料価格：2022年7～9月)			差引【A-B】		
	金額	発電 電力量	単価	金額	発電 電力量	単価	金額	発電 電力量	単価
火力燃料費	5,411	296	18.30	5,437	296	18.38	▲25	—	▲0.08
石炭系	3,944	219	18.00	3,826	219	17.46	118	—	0.54
ガス系	1,152	62	18.51	1,248	62	20.07	▲97	—	▲1.56
石油系	316	14	21.86	363	14	25.12	▲47	—	▲3.26

注 発電電力量および発電単価は発電端。四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

〔参考〕全日本通関価格と為替レート

	今回試算時【A】 (2022年11月～2023年1月)	申請原価時【B】 (2022年7～9月)	差引【A-B】
一般炭	53,189 円/t	51,875 円/t	1,314 円/t
LNG	132,509 円/t	142,803 円/t	▲10,294 円/t
原油	82,572 円/kl	97,466 円/kl	▲14,894 円/kl
為替レート	138.8 円/\$	137.1 円/\$	1.7 円/\$